

# みんなの2020調査

- ファクトブック -

- 2018年9月調査 -



# 2年後の「TOKYO2020」に向けて、日本・東京は？ 大会に向けての期待や実感は？ 2018年夏の意識をご紹介します。

TOKYO2020まで、いよいよ2年を切り、私たちも、競技・大会に関するニュースや、参加できる情報などが、目に見える形になってきました。

電通2020プロデュースセンターでは、2014年から、リオデジャネイロ夏季大会前（2016年7月）、大会1年前（2017年7月）、平昌冬季大会後（2018年3月）などの節目で、全国15～69歳の男女3000人に「みんなの2020調査」を行ってきております。

今回のファクトブックでは、大会2年前（2018年8月）を機に、皆さんの意識や期待がどう変化しているか、トピックをご紹介します。

## 1 開催支持率は5割超で安定 特に若年層は高い支持率を維持

全国でみると、オリンピック・パラリンピック開催に「賛成」（賛成+どちらかといえば賛成）とする人は52%と過半数。平昌後（2018年3月）にスコアが若干上昇しつつも、ここ1年を通してみると安定的に支持を集めている結果となりました。

特に若い世代では、男性10代が7割に迫る高スコアをキープ。女性10代と男女20代がいずれも6割に近いスコアで、高い支持率を維持しています。

### Q あなたは東京オリンピック・パラリンピックの開催に賛成ですか？

全国

反対

18.8%

賛成

52.4%

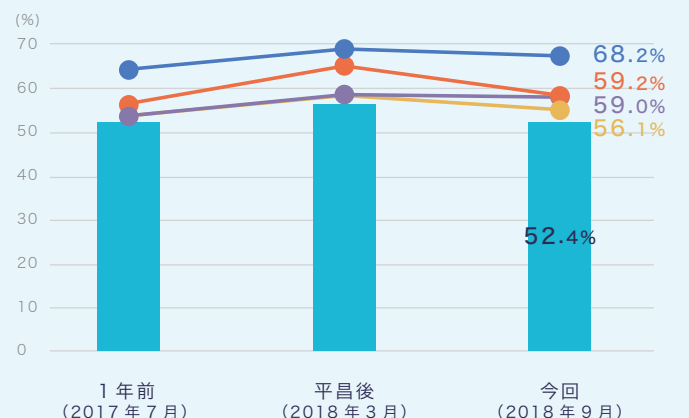
どちらでもない  
28.8%



年代別

「賛成」

TOTAL 男性10代 男性20代 女性10代 女性20代



## 2 オリンピック・パラリンピック両大会とも、「概要まで知っている」とする人が増加

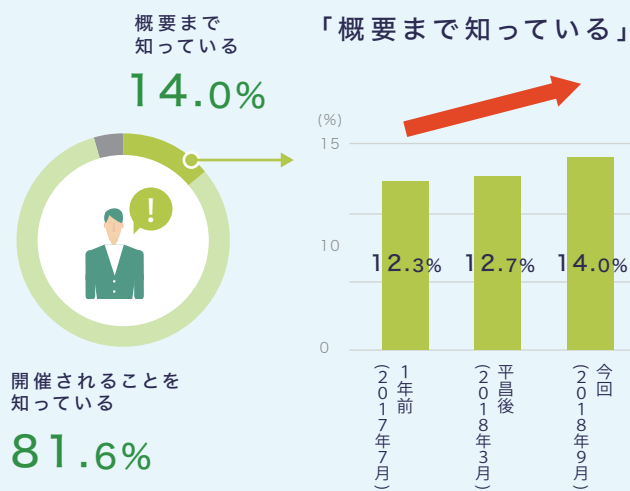
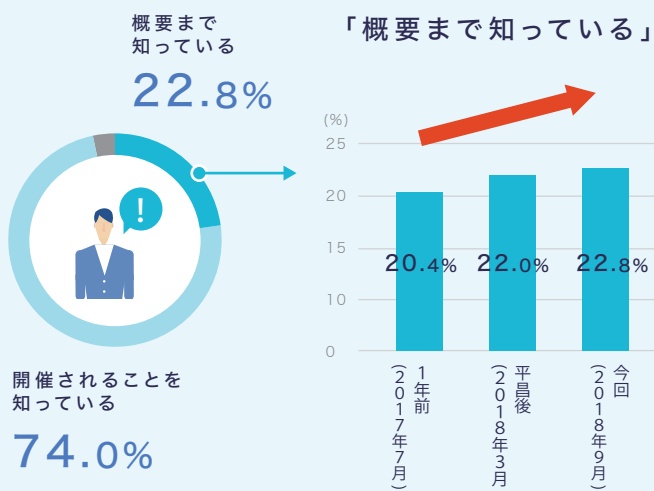
オリンピック・パラリンピック開催について「知っている」（開催を知っている+概要まで知っている）とする人は、オリンピック97%、パラリンピック96%と100%に迫るスコア。  
中でも、「概要まで知っている」とする人は、オリンピック・パラリンピックともに徐々に数値を伸ばしています。

Q 2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることをご存知ですか？

認知

オリンピック

パラリンピック



## 3 オリンピックに対する観戦意向5割強、パラリンピックに対する観戦意向4割 男女ともに10代がハイスコア

オリンピック・パラリンピックについての「観戦意向」（観戦したい+やや観戦したい）も、オリンピック53%、パラリンピック39%と、この1年を通して安定傾向にあります。

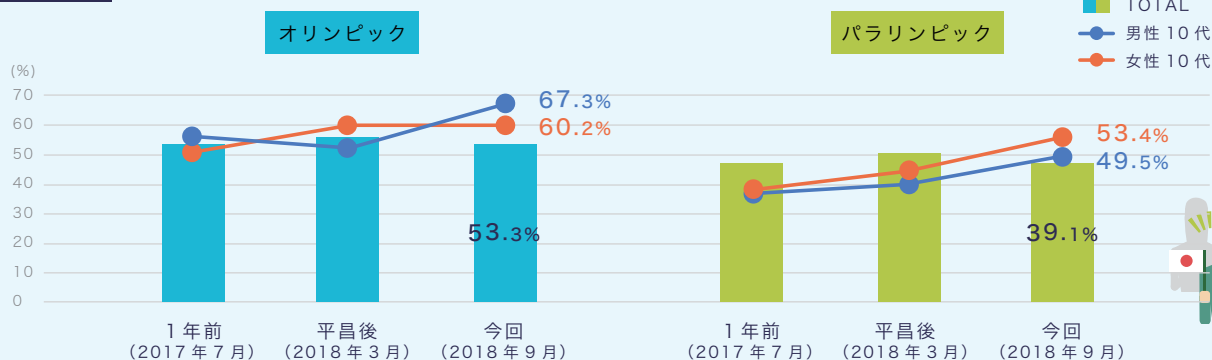
そんな中であって、男女ともに10代の観戦意向は、この1年で伸長傾向にあり、オリンピックについては、男性10代が7割近いスコアを出すなど男女ともに6割超え。

パラリンピックについても、男女とも5割前後と全体を10%以上上回るスコアを出しています。

Q 東京オリンピック・パラリンピックについて、どの程度観戦したいですか？

観戦意向

「観戦したい+やや観戦したい」



## 4 大会への期待は、日本代表選手を応援すること。 応援を通して盛り上がりや一体感を感じたい！

オリンピック・パラリンピックの、大会に寄せる期待では、ほぼ4人に一人（25%）が世界トップレベルの「アスリートの生の姿や活躍ぶりを間近に見る」ことができること。また、その頑張る姿に「感動、共感すること」を期待しているよう。

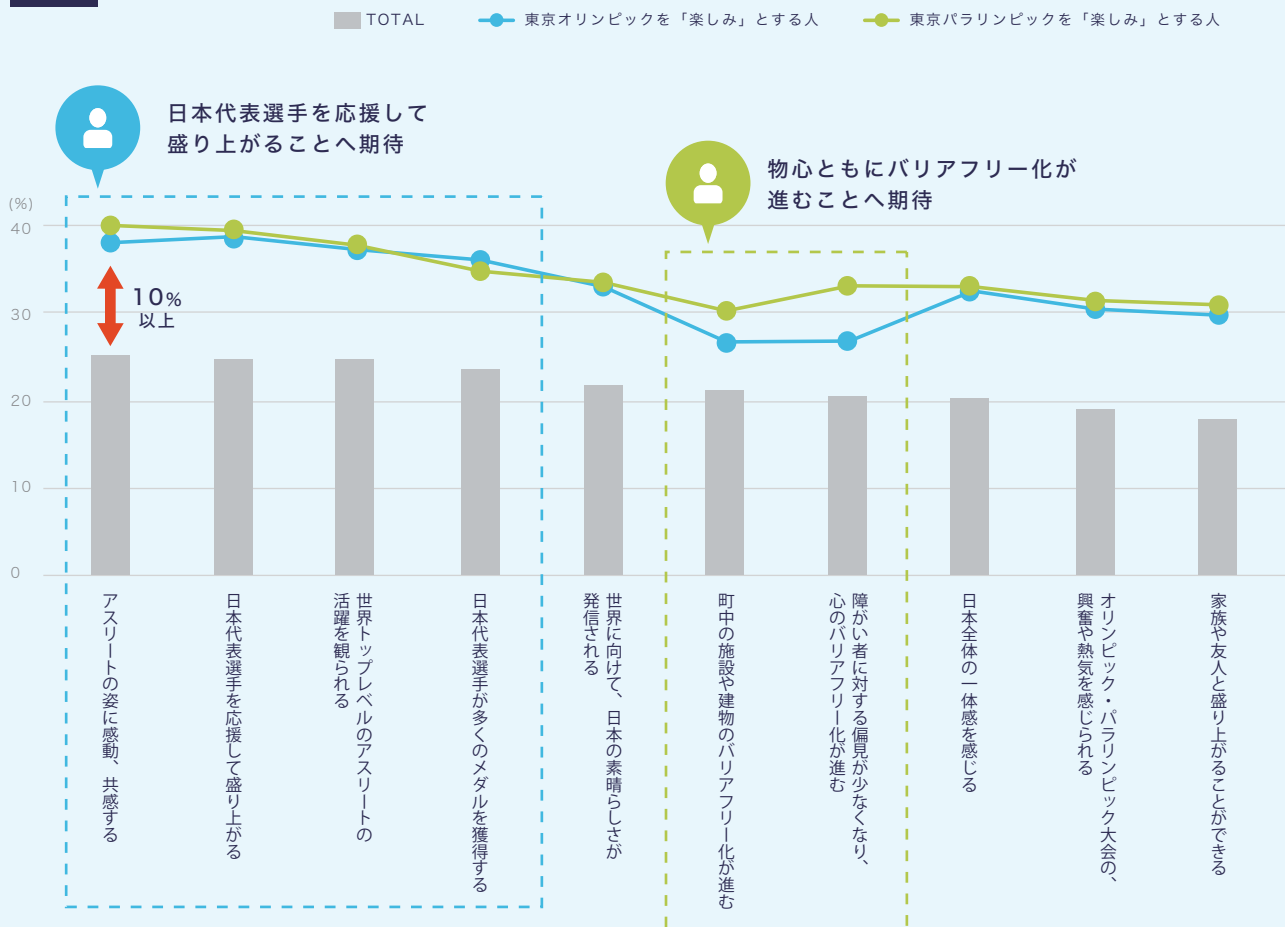
と同時に、やはり気になるのは日本選手のこと。「日本代表選手を応援して盛り上がる」（25%）、「日本代表選手が多くメダルを獲得する」（24%）など、日本代表にける思いが上位にランクインしています。

こうした日本代表選手への応援を通して、「日本全体の一体感を感じる」（20%）、「オリンピック・パラリンピック大会の、興奮や熱気を感じられる」（19%）、「家族や友人と盛り上がる」（18%）のも楽しみ。特にオリンピックを「楽しみ」とする人たちでは、こうした日本代表選手への思いや、応援して盛り上がることへの期待値が全体より10%以上も高いスコアとなっています。

また、パラリンピックを「楽しみ」とする人では、「施設や建物のバリアフリー化」「偏見が少なくなり、心のバリアフリー化」と、物心ともにバリアフリー化が進むことへの期待が突出しています。

### Q 東京オリンピック・パラリンピックを通して、 どのような変化が起きることを期待しますか？

全国



「日本人選手の育成に力を入れている様子が感じられるから楽しみ」  
(神奈川県 / 30-39 歳女性)

「日本選手を初め、世界のアスリートの活躍を身近で感じられるから」(大阪府 / 50-59 歳男性)

\*東京オリンピックを「楽しみ」（楽しみ+やや楽しみ）とする人：n=1,575名、同パラリンピックを「楽しみ」とする人：n=1,222名

## 5 2020年、経済活動の活性化を期待するのと同じくらい、地方都市の活性化へも期待が高まる。

2020年の日本・東京に期待することを見ると、この1年で伸ばしていたのが、「被災地の復興が加速する」と、「地方都市が活性化する」でした。

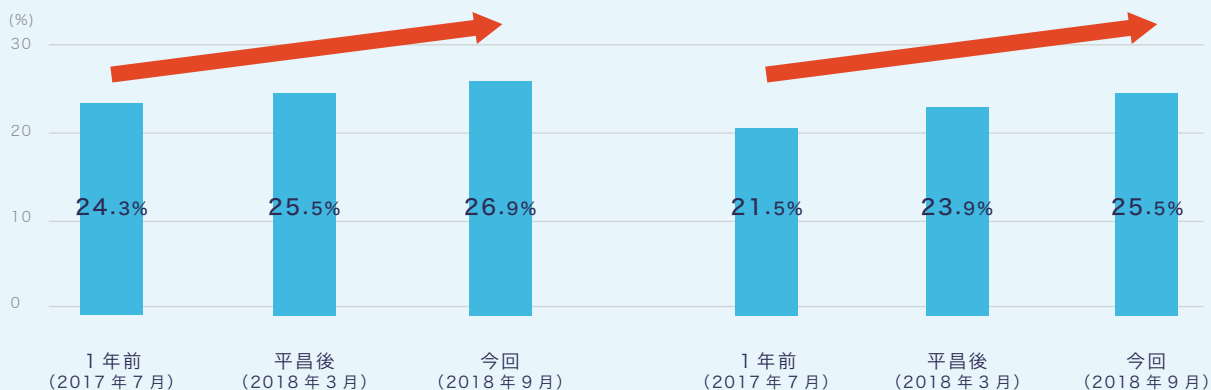
地方の活性化に対する期待が徐々に広がりを見せています。

Q

あなたは、2020年の日本や東京がどうなっていてほしいと思いますか？

全国 「被災地の復興が加速する」

全国 「地方都市が活性化する」



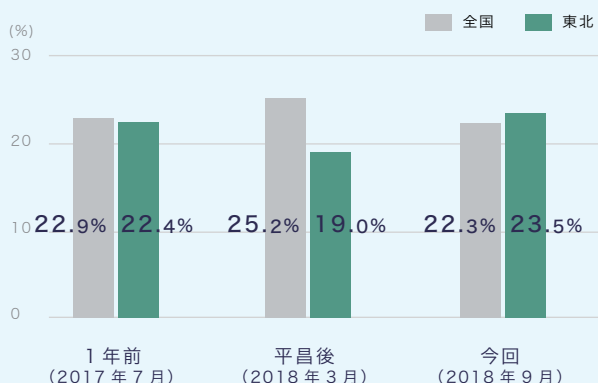
オリンピック・パラリンピックが、「自分の居住地域に良い変化がある」（良い変化がある+多少は良い変化がある）と考えている人の割合は、全国レベルでは、ほぼ5人に一人（22%）で安定傾向、東北地方での期待は、どんどん高まっているようです。

オリンピック・パラリンピックによる好影響が日本全体で期待されています。

Q

東京オリンピック・パラリンピックが開催されることで、あなたの住んでいる地域に何か変化があると思いますか。

地域別 「自分の居住地域に良い変化がある」



「世界に復興の様子を届けるいいきっかけ」  
(岩手県 / 20-29 歳男性)



「被災地の復興に貢献できればと思う」  
(宮城県 / 30-39 歳女性)



## 6 若い世代では「人種、文化・習慣、外国人との交流」など、グローバル化や多文化社会への理解を期待

若い世代では男女とも、ダイバーシティやグローバル意識の高まりに関するスコアが、この1年でぐんと伸びています。「人種や文化、習慣などの違いを互いに認め合える社会になる」「外国人との交流が増える」「外国語学力向上、グローバル意識が高まる」など。

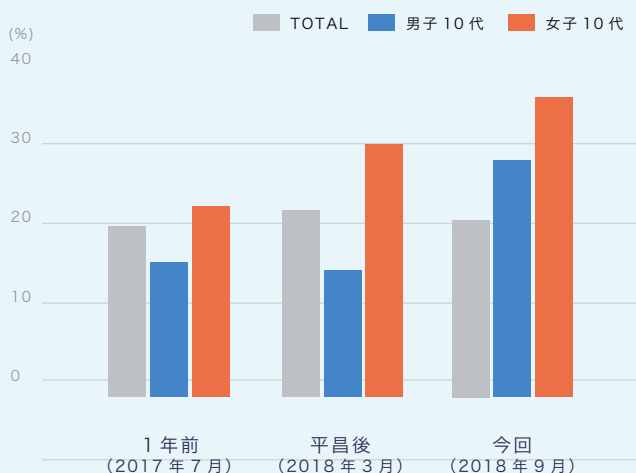
交流を通して得られる、様々なカルチャー体験に興味津々のようです。



あなたは、2020年の日本や東京がどうなっていてほしいと思いますか？

### 年代別

「人種や文化、習慣などの違いを互いに認め合える社会になる」



スポーツでいるんな人と交流し、高め合い、絆で繋がりとあえると思う。  
(男性 15-19歳)

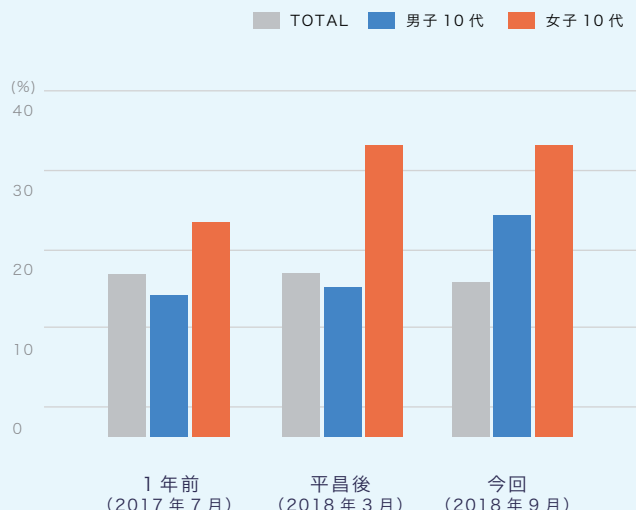


東京オリンピックが私にとって初めての日本で開催されるオリンピック。生で競技場で見ることが楽しみだし、外国人の方もたくさん来ると思うのでその人たちとボランティアなどを通して交流したい。  
(女性 15-19歳)



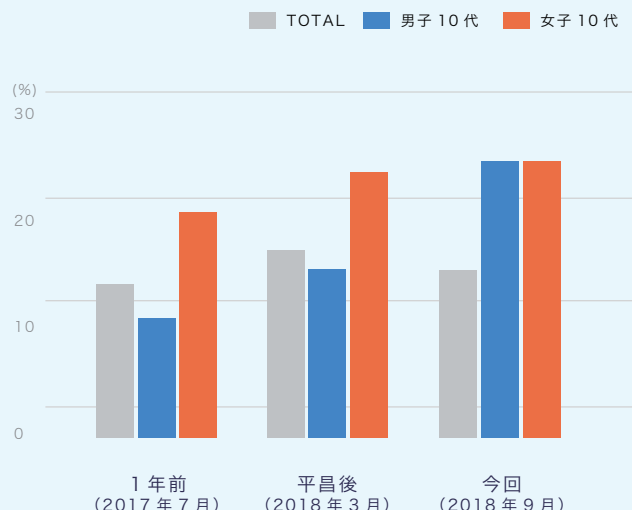
### 年代別

「外国人との交流が増える」



### 年代別

「外国語学力向上、グローバル意識が高まる」



# 7 一緒に観戦したい人は……パートナー、子ども、親。 おひとりさまで観戦するか、仲間と盛り上がるか、も思案のしどころ

さらにチケットを特に購入したいと思う競技について、それぞれ「誰と」観戦したいか、をきいたのがこちら。オリンピック・パラリンピック各競技とも「配偶者・恋人」が群を抜いて高くなる傾向にあるものの、オリンピック「閉会式」に限っては、「親」をあげる人も25%超。

また、オリンピックでは「体操」や「水泳（競泳）」で「子ども」のスコアが高く、パラリンピックでは「卓球」「水泳」で「子ども」のスコアが高くなっており、ファミリー観戦が多くなることが予想されます。

一方、「バスケットボール」「車いすバスケットボール」や「テニス」「車いすテニス」、「サッカー」「5人制サッカー」では「仲間観戦」のスコアが高くなっています。「野球」で「友人大人数で」をあげる人が他競技と比べても多めなもの、推して知るべし…といえるかもしれません。

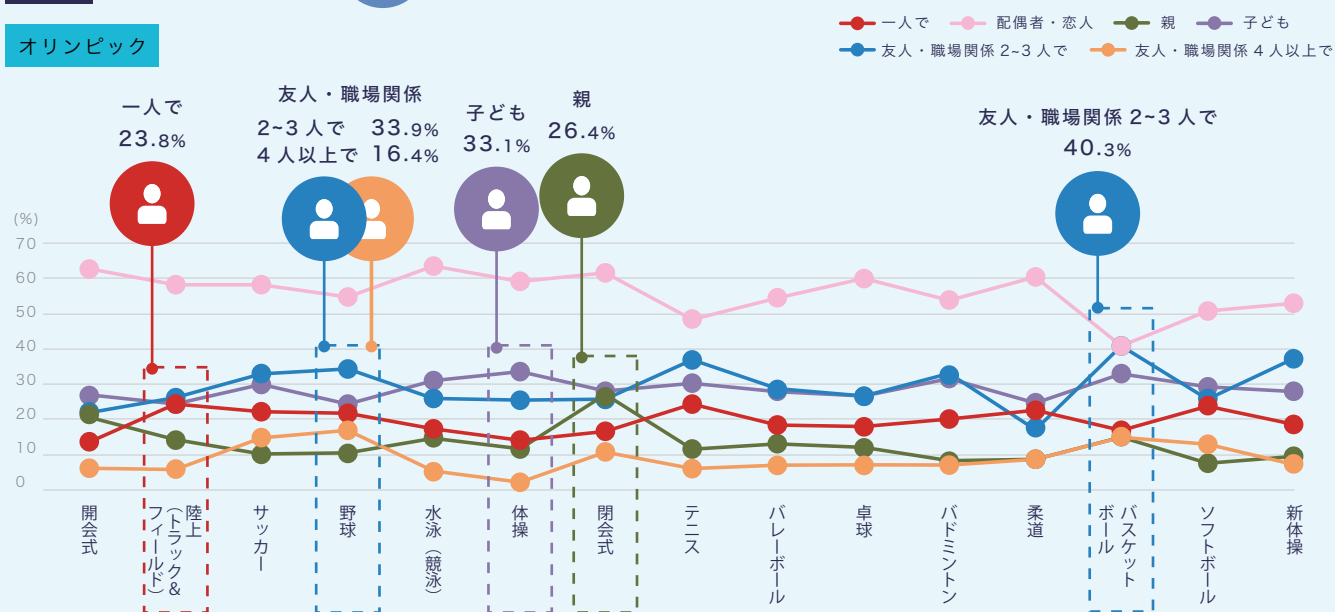
また、おひとりさま観戦のスコアも高いのが「柔道」（オリンピック・パラリンピック）、「陸上」（オリンピック）や「5人制サッカー」「ボッチャ」「馬術」（パラリンピック）など。

仲間と観戦するか、おひとりさまで観戦するか、いろいろな楽しみ方がありそうです。

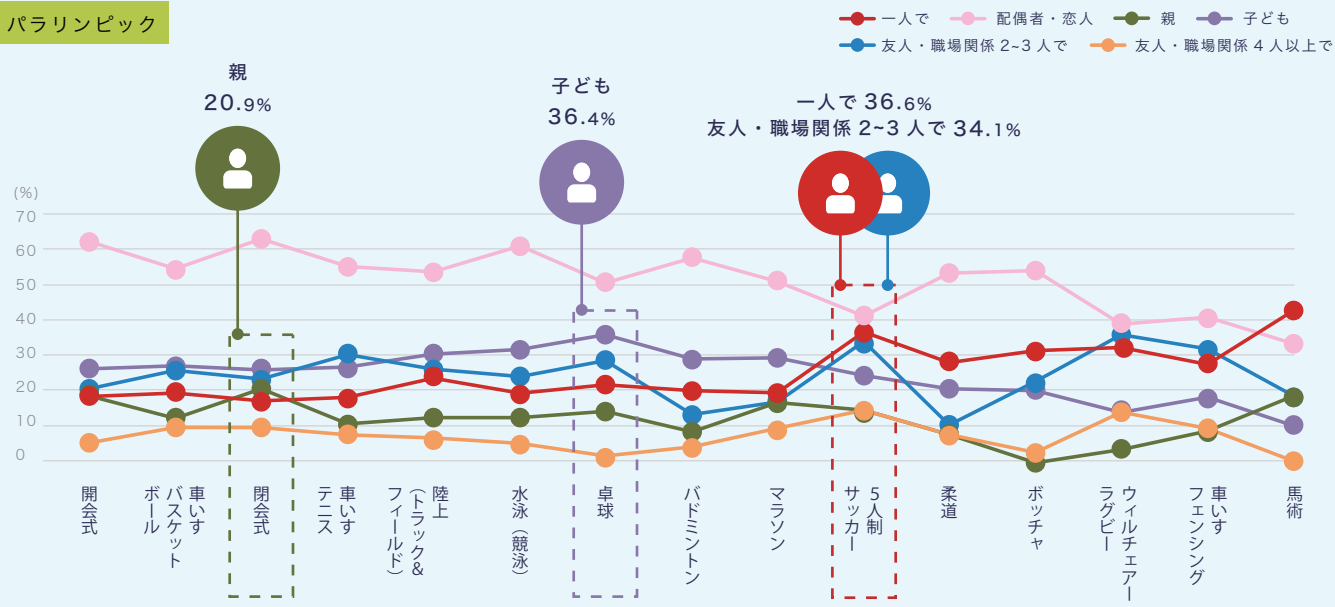
## Q それぞれ誰と観戦したいですか？

### 全国

#### オリンピック



#### パラリンピック



8

## 認知度/興味が高い「聖火リレー」 まだまだ認知されていない活動についても、興味あり

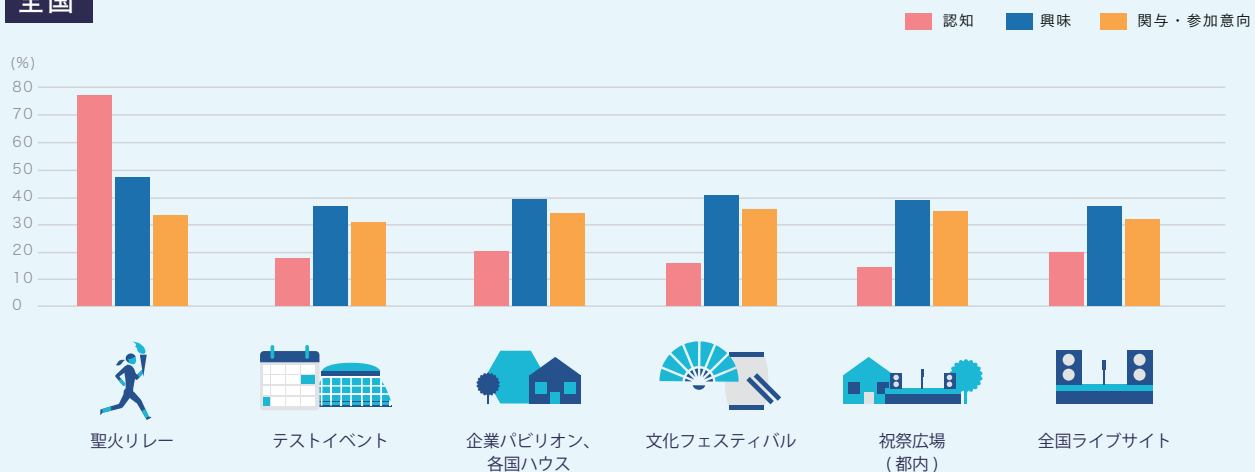
競技観戦、ボランティア活動以外にも、東京オリンピック・パラリンピックでは、さまざまなイベント活動が予定されています。全国で行われている(行われる予定の)活動について、知っているか、興味があるか、関わりたい・参加したいと思っているか、をきいてみたところ、「聖火リレー」は8割が「知っている」(77%)と回答、3人に一人が「関与・参加したい」(33%)と答えていることがわかりました。

一方、まだまだ知られていない・認知されていない活動についても、各々「興味がある」が4割弱、「関与・参加したい意向」も3割強という結果。写真やコメントなどを通して知ること、面白そう、参加したいという思いが生まれてきています。

Q

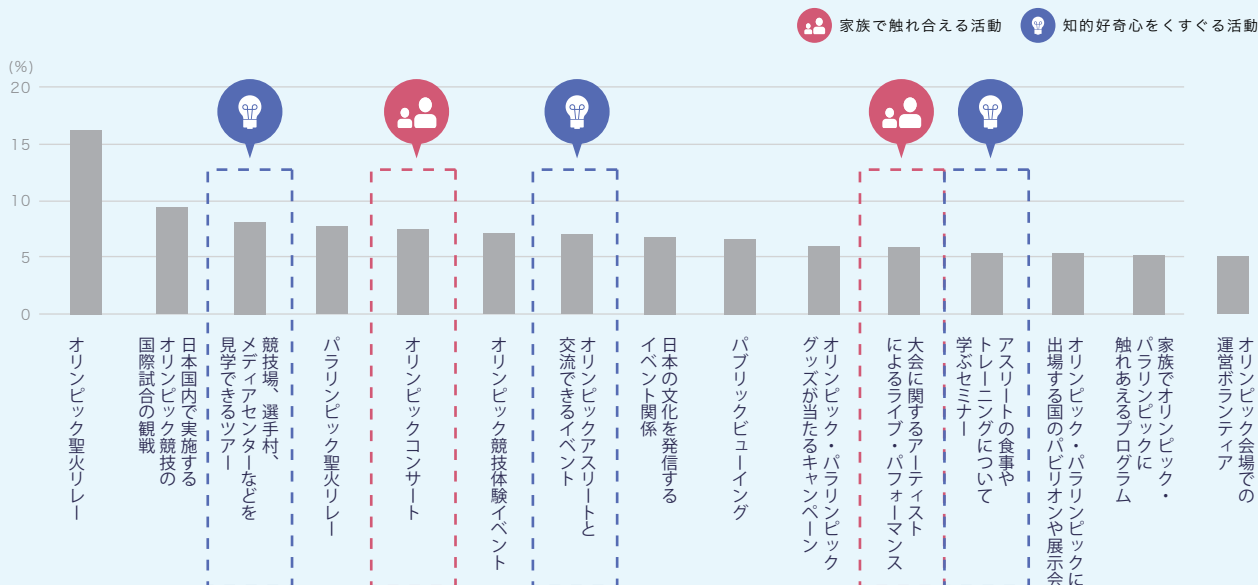
東京オリンピック・パラリンピックに向けて全国で行われる予定のイベント活動の中で、知っているもの、興味のあるもの、関与・参加したいものはなんですか？

全国



今後、競技関連以外でも「競技場・選手村・メディアセンター見学」「オリンピックアスリートとの交流イベント」「アスリートに学ぶ食・トレーニング法セミナー」など知的好奇心をくすぐられるもの、「オリンピックコンサート」「大会関連アーティストによるライブ・パフォーマンス」などカルチャーイベントや家族で触れ合えるプログラムにも興味津々です。

### 全国で行われている(行われる予定の)活動で、 参加したり、見たりしてみたいもの(トップ15)





調査方法	インターネット調査
抽出フレーム	マイティモニター
調査地域	全国
調査対象	15-69歳の男女
除外条件	マスコミ関係 / 広告関係 / 市場調査関係に従事している方を除外
回収目標数・セル設計案	3,000s ※性年代・エリアで母集団準拠回収
調査期間	2018年8月31日(金)~9月3日(月)
調査実施機関	株式会社インテージ